

柚野朝男彫刻展

— 自然の鼓動を求めて —

はな・たね・てん

2015年

7月25日[土]～8月9日[日]

会 場 朝倉文夫記念文化ホール

開館時間 9:00～17:00 (最終日は15:00まで)

休 館 日 7月27日[月]、8月3日[月]

主 催 豊後大野市(朝倉文夫記念館)

後 援 大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分
OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

観 覧 料 大人200円、小中高生100円(記念館入館者は無料)



ワークショップ参加者募集

「森の生き物たちをつくろう」

紙ねんどを使って、きのこの形をした豊後大野市の
イメージキャラクター「へぷタゴン」、「なばっピー」や
リス、ウサギなどを形つくる造形ワークショップを行います。

と き 8月2日(日) 10:00～12:00

ところ 朝倉文夫記念公園内 アトリエ朝(予定)

講 師 柚野朝男

定 員 20名程度

参加費: 無料

柚野朝男彫刻展

— 自然の鼓動を求めて —
はな・たね・てん

柚野朝男氏（1947— ）は由布市挾間町出身。宮崎大学教育学部に入學後、本格的に彫刻を始め、在学中2年間東京の美術研究所に内地留学。宮崎大学卒業後は佐賀大学教育専攻科に進み、彫刻への研鑽を深めました。

そして、1975年大分彫刻家連盟の結成に参加。以後、大分現代彫刻展、九州アートナウ展、大分県美術展等で活躍。1989年には行動美術協会への出品を開始し、2005年同協会会員。大分県美術協会では2001年以降7期14年に亘り彫刻部長として美術の振興に努めました。

氏は40年を超す長い活動の中で、常に自然の核心に触れながら、心に眠る何かを探し求め、対話し、そこに感じる自身の自然観（神秘・畏怖・畏敬）を様々な素材の持つ可能性に挑みながら、具体化してきました。

本展では、約30点の彫刻作品を展示室の内外に展示することにより、自然と向き合い、造形と精神の一致を求め、精力的に制作を続ける氏の活動の全容を紹介いたします。



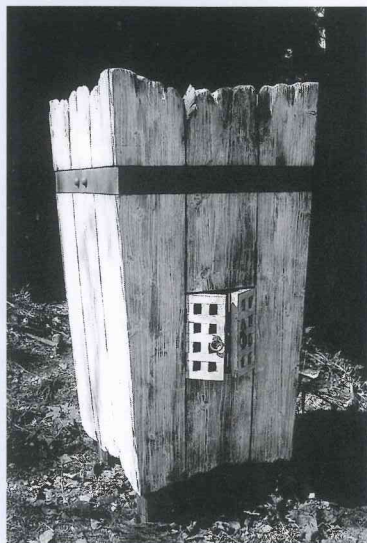
「父の像」



「大地の詩」



「エンタシス」



「失われた祠」



「はじまりの形」3



柚野朝男

〈プロフィール〉

- 1947 大分県挾間町（現由布市挾間町）に生まれる
宮崎大学教育学部美術科、佐賀大学教育専攻科美術・工芸卒
佐賀県美展特選、大分県美展 OG 賞、県知事賞、50 周年記念賞など
- 1975～86 九州アート・ナウ展（九州各県で造形運動）
- 1983～94 大分現代彫刻展、宮崎現代彫刻展、鹿児島空港現代彫刻展
- 1985 挾間町七蔵司に「彫刻の丘」開設
- 1989～第44回行動美術協会展、受賞4回（東京都美術館、国立新美術館）
- 1991 大分県芸術振海外派遣研修生としてアメリカ現代彫刻研修の旅
- 1995～99 国際現代美術展（フランス展一席受賞、スペイン展一席受賞）
- 現在 行動美術協会会員、大分県美術協会会員、彫刻の丘主宰



Fumio Asakura Museum of Sculpture
朝倉文夫記念館

<http://www.bungo-ohno.jp/categories/shisetsu/asakura/>

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11
愛の園生 朝倉文夫記念公園 TEL.0974-72-1300



「仔猫の群れ」1927

